

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2022年7～9月期実績、2022年10月～12月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体はすべての指標が2期ぶりに悪化































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△16.8、採算D Iが△41.8、資金繰りD Iが△20.3となり、対前期比でそれぞれ1.6ポイント、2.6ポイント、2.6ポイント悪化した。

次期の産業全体の景況は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも好転の見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △16.8（対前期比 △1.6悪化） 次期予想 △15.7（対前期比 1.1好転）
- ・採算D I △41.8（対前期比 △2.6悪化） 次期予想 △36.9（対前期比 4.9好転）
- ・資金繰りD I △20.3（対前期比 △2.6悪化） 次期予想 △16.3（対前期比 4.0好転）

産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年10月～12月		△27.4 		△34.7 		△14.7 
2022年1月～3月		△31.2 		△43.0 		△27.7 
2022年4月～6月		△15.2 		△39.2 		△17.7 
2022年7月～9月		△16.8 		△41.8 		△20.3 
2022年10月～12月 （見通し）		△15.7 		△36.9 		△16.3 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は採算D Iが低下、売上額D I、資金繰りD Iが悪化































製造業では、採算D Iは△60.0となり対前期比で33.5ポイント低下し、売上額D Iは△34.3、資金繰りD Iは△25.7となり、対前期比でそれぞれ25.5ポイント、16.9ポイント悪化した。

次期は、売上額D Iは横ばい、採算D I、資金繰りD Iは好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △34.3 (対前期比 △25.5 悪化) 次期予想 △34.3 (対前期比 0.0 横ばい)
- ・採算D I △60.0 (対前期比 △33.5 低下) 次期予想 △50.0 (対前期比 10.0 好転)
- ・資金繰りD I △25.7 (対前期比 △16.9 悪化) 次期予想 △22.8 (対前期比 2.9 好転)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年10月～12月		△2.9 		△37.2 		△24.2 
2022年1月～3月		△14.3 		△23.5 		△23.6 
2022年4月～6月		△8.8 		△26.5 		△8.8 
2022年7月～9月		△34.3 		△60.0 		△25.7 
2022年10月～12月 (見通し)		△34.3 		△50.0 		△22.8 

(2) 建設業































建設業はすべての指標が好転

建設業では、売上額D Iが8.0、採算D Iが△25.0、資金繰りD Iが△8.0となり、対前期比でそれぞれ31.1ポイント、21.2ポイント、3.6ポイント好転した。次期は、売上額D Iが悪化、採算D I、資金繰りD Iが上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 8.0 (対前期比 31.1 好転) 次期予想 △8.0 (対前期比 △16.0 悪化)
- ・採算D I △25.0 (対前期比 21.2 好転) 次期予想 △16.7 (対前期比 8.3 上昇)
- ・資金繰りD I △8.0 (対前期比 3.6 好転) 次期予想 △4.0 (対前期比 4.0 上昇)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年10月～12月		△11.5 		△19.2 		△7.7 
2022年1月～3月		△11.6 		△32.0 		△11.6 
2022年4月～6月		△23.1 		△46.2 		△11.6 
2022年7月～9月		8.0 		△25.0 		△8.0 
2022年10月～12月 (見通し)		△8.0 		△16.7 		△4.0 

(3) 小売業

小売業はすべての指標が2期連続上昇































小売業では、売上額D Iが△28.3、採算D Iが△39.1、資金繰りD Iが△23.9となり、対前期比でそれぞれ2.8ポイント、0.9ポイント、5.0ポイント上昇した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △28.3 (対前期比 2.8 上昇) 次期予想 △6.5 (対前期比 21.8 上昇)
- ・採算D I △39.1 (対前期比 0.9 上昇) 次期予想 △28.3 (対前期比 10.8 上昇)
- ・資金繰りD I △23.9 (対前期比 5.0 上昇) 次期予想 △15.3 (対前期比 8.6 上昇)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年10月～12月		△34.8 		△32.6 		△17.8 
2022年1月～3月		△41.3 		△50.0 		△30.4 
2022年4月～6月		△31.1 		△40.0 		△28.9 
2022年7月～9月		△28.3 		△39.1 		△23.9 
2022年10月～12月 (見通し)		△6.5 		△28.3 		△15.3 

(4) サービス業

サービス業はすべての指標が好転





































サービス業では、売上額D Iが△9.6、資金繰りD Iが△19.5となり、対前期比でそれぞれ4.1ポイント、2.6ポイント悪化した。採算D Iが△40.3となり、対前期比で2.0ポイント上昇した。

次期は、売上額D Iが低下、採算D Iが悪化、資金繰りD Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △9.6 (対前期比 △4.1 悪化) 次期予想 △15.0 (対前期比 △5.4 低下)
- ・採算D I △40.3 (対前期比 2.0 上昇) 次期予想 △43.1 (対前期比 △2.8 悪化)
- ・資金繰りD I △19.5 (対前期比 △2.6 悪化) 次期予想 △18.1 (対前期比 1.4 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年7月～9月		△41.1 		△38.9 		△19.8 
2021年10月～12月		△40.3 		△40.3 		△11.1 
2022年1月～3月		△40.3 		△51.4 		△33.8 
2022年4月～6月		△5.5 		△42.3 		△16.9 
2022年7月～9月		△9.6 		△40.3 		△19.5 
2022年10月～12月 (見通し)		△15.0 		△43.1 		△18.1 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	5.7%	生産設備、その他	11.4%	生産設備、OA機器
建設業	4.0%	車両運搬具	8.0%	車両運搬具、OA機器
小売業	4.3%	店舗、販売設備 車両運搬具	13.0%	土地、店舗、販売設備 車両運搬具、その他
サービス業	17.8%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	15.1%	建物、サービス 付帯施設、OA機器 その他

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	36.7%
	2位	需要の停滞	26.7%
	3位	原材料費・人件費以外の経費の増加	10.0%
建設業	1位	材料価格の上昇	44.4%
	2位	民間需要の停滞	11.1%
		従業員の確保難	11.1%
		材料の入手難	11.1%
小売業	1位	仕入単価の上昇	41.9%
	2位	需要の停滞	18.6%
	3位	消費者ニーズの変化	16.3%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	40.9%
	2位	需要の停滞	15.2%
	3位	利用者ニーズの変化	10.6%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2022年7月から9月までの第2四半期を対象とし、調査時点は2022年9月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内179企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業46企業、サービス業73企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和4年10月7日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041